

平成24年度（2012年度）

首都大学東京
大学院都市環境科学研究科
【博士前期課程】

学生募集要項

地理環境科学域
都市基盤環境学域
建築学域
都市システム科学域
分子応用化学域
観光科学域

首都大学東京 南大沢キャンパス

☆平成23年度より、(1)長期履修制度の導入、(2)都市環境マイスターコースの学生募集を始めました。

都市環境科学研究科の教育研究上の目的

都市環境科学研究科博士前期課程は、都市の文化を継承・発展させながら、都市空間に居住する人間が豊かに生き生きと活動できる安全・安心・快適で美しい都市環境の下に持続的に発展し得る都市を構築する科学体系としての都市環境科学を教授研究し、都市環境を構成する人間、物質、エネルギー、情報、人工物、自然の各要素を究理する方法論を修得させ、各要素間の相互作用を解析する能力を培い、都市の課題を発見し解決し得る先導的人材を養成することを目的とする。

(首都大学東京大学院学則第7条の5)

目次

〈共通事項〉

1 募集人員	1
2 出願資格	1
3 出願資格審査	2
4 「特別選抜」出願資格審査	3
5 事前協議	6
6 出願手続	7
7 出願に際しての注意事項	7
8 個人情報の取扱いについて	8
9 入学考査料の振込について	8
10 入学手続、入学料及び授業料等	8
11 過去に出題された問題の閲覧及び入手方法について	8
12 長期履修制度について	9
13 都市環境マイスターコースについて	9

〈夏季試験〉	10
--------	----

〈冬季試験〉	11
--------	----

〈各学域別試験日程、注意事項等〉

・地理環境科学域	12
・都市基盤環境学域	13
・建築学域	14
・都市システム科学域	16
・分子応用化学域	17
・観光科学域	18

〈指導教員及び研究分野〉	19
--------------	----

【提出書類】一本冊子に綴じ込み

- ① 都市環境科学研究科入学願書
- ② 受験票・机上票・写真票
- ③ 外国人特別学生（博士前期課程）入学志願者調査書
- ④ 研究計画書（建築学域のみ）
- ⑤ 口頭試問面接票（都市システム科学域のみ）
- ⑥ 研究希望調書（都市システム科学域のみ）
- ⑦ 志望調査書（分子応用化学域のみ）
- ⑧ 長期履修申請書
- ⑨ 出願書類提出用封筒（角型2号）
- ⑩ 受験票送付用封筒（長形3号）

<共通事項>
1 募集人員

学 域 名	募集人員	夏季試験	冬季試験	募 集 内 容
地理環境科学域	15名	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季試験の合格予定者数は、募集人員の1～2割程度を目安とします。 ・募集人員内で社会人学生を夏季試験及び冬季試験において募集します。 ・学内からの進学者については筆記試験免除制度があります。※
都市基盤環境学域	32名	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季試験及び冬季試験において募集します。 ・なお、冬季試験の合格予定者数は、若干名とします。 ・学内及び学外向けに筆記試験免除制度があります。※
建築学域	35名	○	△	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季試験において合格者が募集人員に満たない場合は、冬季試験を行うことがあります。 ・学内からの進学者については筆記試験免除制度があります。※
都市システム科学域	12名	○ 社会人特別選抜を含む	○ 外国人特別選抜 △ 一般選抜及び社会人特別選抜	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季試験の社会人特別選抜合格予定者数は、募集人員の半数程度とします。 ・外国人特別選抜は冬季試験において行います。 ・夏季試験において合格者が募集人員に満たない場合、一般選抜及び社会人特別選抜について冬季試験を行うことがあります。 ・学内からの進学者については筆記試験免除制度があります。※
分子応用化学域	42名	○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・夏季試験及び冬季試験において募集します。 ・なお、冬季試験の合格予定者数は、若干名とします。 ・学内及び学外向けに筆記試験免除制度があります。※
観光学域	10名	○ 外国人特別選抜を含む	○	<ul style="list-style-type: none"> ・冬季試験の合格予定者数は、募集人員の1～2割程度を目安とします。 ・募集人員内で社会人学生を夏季試験及び冬季試験において募集します。 ・外国人特別選抜は夏季試験において行います。 ・学内からの進学者については筆記試験免除制度があります。※

*記号の説明…○は実施を示す。△は実施の可能性があることを示す。(当該学域の募集内容を参照のこと)。
※筆記試験免除制度の詳細は、各学域にお問い合わせください。

2 出願資格

- (1) 大学を卒業した者又は平成24年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定(大学評価・学位授与機構)により学士の学位を授与された者又は平成24年3月31日までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び平成24年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び平成24年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了した者及び修了見込みの者(*1)
- (6) 専修学校の専門課程(修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。)の修了者又は平成24年3月までに修了見込みの者
- (7) 文部科学大臣の指定した者(昭和28年文部省告示第5号)(*2)
- (8) 平成24年3月末の時点で大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、若しくは我が国において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされるものに限る)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付

けられた教育施設であって、文部科学大臣が指定するものの当該課程を修了し、大学院の本研究科の教授会においてあらかじめ定めた単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者(*3)

- (9) 大学院(本研究科)において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、22歳(平成24年4月1日現在)に達した者(*4)

*1…テンブル大学ジャパン卒業(見込み)者

*2…防衛大学校、水産大学校、海上保安大学校、気象大学校の卒業(見込み)者など

*3…いわゆる「飛び入学」のことで、前頁「2 出願資格」の(1)から(7)までの者は該当しません。

なお、事前に出願資格審査が必要です。

*4…短期大学、高等専門学校、専修学校等の卒業者及びその他の教育施設の修了者など。

なお、事前に出願資格審査が必要です。

3 出願資格審査

全学域について「2 出願資格」(p.1)の(8)、(9)及び下記(2)の外国人特別学生(留学生)として出願するには、事前の出願資格審査が必要です。

また、都市システム科学域の特別選抜試験(社会人・外国人)、観光科学域の特別選抜試験(外国人)に出願するためには、事前の出願資格審査(p.3「4 「特別選抜」出願資格審査」)が必要です。

個別の出願資格審査において、出願資格があると認められた方に対して「出願許可証」を交付します。また、社会人入学及び身体に障がいを持つため受験上特別な配慮を希望する方は、事前協議(p.6「5 事前協議」)が必要です。

提出期限を過ぎての書類の提出は受け付けませんので、提出方法と受付期間に注意してください。

(1) 「2 出願資格」の(8)、(9)による出願資格審査について

① 提出書類

・「2 出願資格-(8)」(飛び入学)に該当する方

*地理環境科学域の「飛び入学」は、冬季試験のみ出願資格審査を行います。

ア 飛び入学による出願資格審査調書(本研究科所定の様式)

イ 最終学歴卒業見込証明書

ウ 最終学歴成績証明書

エ 宛先に申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した封筒(長形3号、たて23.5cm×よこ12.0cm、速達料金を含む350円分の切手を貼ったもの)1枚

・「2 出願資格-(9)」に該当する方

ア 出願資格審査調書(本研究科所定の様式)

イ 最終学歴卒業(見込)証明書

ウ 最終学歴成績証明書

エ 志望理由書(A4用紙1枚、様式任意):志望学域名・分野、志望指導教員氏名、申請者氏名、志望理由を記入してください。

オ 宛先に申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した封筒(長形3号、たて23.5cm×よこ12.0cm、速達料金を含む350円分の切手を貼付したもの)1枚

② 受付期間

・夏季試験:平成23年6月13日(月)から6月17日(金)まで(6月17日消印有効)

・冬季試験:平成23年11月28日(月)から12月2日(金)まで(12月2日消印有効)

③ 提出先

首都大学東京 都市環境科学研究科教務係(〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1)

*「**書留速達**」とし、封筒(角型2号、A4サイズが折らずに入る大きさ)の表面左脇に『都市環境科学研究科 博士前期課程 出願資格審査申請(*1)』と明記してください。

(*1)…前頁「2 出願資格-(8)」による場合は「8」と記載してください。

「2 出願資格-(9)」による場合は「9」と記載してください。

④ 出願資格審査書類の請求方法

下記の封筒とメモを同封して「③ 提出先」へ郵送等で請求してください。

・80円分の切手を貼り、申請者の宛先を明記した長形3号(たて23.5cm×よこ12.0cm)の封筒

・申請者の住所、氏名、連絡先(携帯電話番号等)及び志望予定学域名と

「都市環境科学研究科 博士前期課程 出願資格審査書類(*2)請求」と明記したメモ

(*2)…前頁「2 出願資格-(8)」による場合は「8」と記載してください。

「2 出願資格-(9)」による場合は「9」と記載してください。

(2) 外国人特別学生（留学生）出願資格審査について

大学卒業までの学校教育の課程が16年を要せず、大学教育を修了した外国人留学生は、出願にあたり事前に出願資格審査を受けなければなりません。

① 提出書類

- ア 外国人特別学生（留学生）出願資格「事前審査申請書」（本研究科所定の様式）
- イ 外国人特別学生（留学生）出願資格「事前審査調書」（本研究科所定の様式）
- ウ 「研究志願調書」（本研究科所定の様式）
- エ 最終学歴卒業（見込）証明書（コピーは無効。日本語、英語表記以外は日本語訳を添付のこと）
- オ 最終学歴成績証明書（コピーは無効。日本語、英語表記以外は日本語訳を添付のこと）
- カ 外国人登録原票記載事項証明書（コピーは無効。出願以前3ヶ月以内に発行されたもの）
- キ 宛先に申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した封筒（長形3号、たて23.5cm×よこ12.0cm 速達料金を含む350円分の切手を貼ったもの）1枚

② 受付期間

- ・夏季試験：平成23年6月13日(月)から6月17日(金)まで
 - ・冬季試験：平成23年11月28日(月)から12月2日(金)まで
- 郵送による申請はできません。原則、本人が窓口へ直接提出してください。**
受付時間は夏季試験、冬季試験とも期間中の10:00～12:00及び14:00～17:00です。
なお、期間外及び時間外の受付は一切できませんので注意してください。

③ 提出先

首都大学東京 都市環境科学研究科教務係（南大沢キャンパス9号館2階）

④ 出願資格審査書類の請求方法

- 下記の封筒とメモを同封して「③ 提出先」へ郵送等で請求してください。
- ・80円分の切手を貼り、申請者の宛先を明記した長形3号（たて23.5cm×よこ12.0cm）の封筒
 - ・申請者の住所、氏名、連絡先（携帯電話番号等）及び志望予定学域名と「都市環境科学研究科 博士前期課程 外国人特別学生出願資格審査書類請求」と明記したメモ

4 「特別選抜」出願資格審査（都市システム科学域・観光科学域）

○都市システム科学域

〈社会人特別選抜〉実施時期：夏季試験

出願手続については、夏季試験のページ（p.7・10）を参照してください。
（合格者が募集人員に満たない場合、冬季にも試験を実施）

都市システム科学域は、複雑化する都市問題を関連する諸分野の知見と理論を視野に入れつつ幅広く総合的にとらえ、これらを独創的な調査研究を通して考究し、都市科学の進展と都市問題の解決に寄与できる人材の育成を目的としています。特に、国・自治体や民間企業等で働き、都市にかかわる現実の課題に直面している方で、勤務先から派遣され、あるいは自らすすんで都市科学に関する専門教育を受け、研究を行おうとする社会人を積極的に受け入れます。このために、社会人特別選抜を行い、土曜日にも演習を行ったり夜間ゼミナールを行うなど社会人に配慮した教育を実施します。

1 募集人員

都市システム科学域の募集人員12名のうち半数程度とします。

2 出願資格

「2 出願資格」（p.1）の(1)から(9)のいずれか（ただし(1)から(6)については、卒業見込み、学位取得見込み、修了見込みの方を除く）に該当し、かつ次に掲げる①又は②の条件を満たす方。

- ① 出願時に2年以上の職歴を有し、かつ定職（アルバイトを除く）に就いている者
- ② 入学時（平成24年4月1日）において、大学卒業後5年以上経過している者

3 出願資格審査

「2 出願資格」（p.1）の(3)から(6)、(8)及び(9)により出願しようとする方は、出願に先立って資格審査を行います。下記要領で提出してください。

(1) 提出書類

① 「2 出願資格－(3)」に該当する方

- ア 社会人特別選抜出願資格審査申請書（本研究科所定様式）
- イ 出身大学等の卒業証明書（コピーは無効。日本語表記以外は日本語訳を添付のこと）

- ウ 宛先に申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した封筒（長形 3 号、たて 23.5 cm×よこ 12.0 cm、速達料金を含む 350 円分の切手を貼ったもの） 1 枚
- ② 「2 出願資格-(4)から(6)、(8)及び(9)」に該当する方
- ア 社会人特別選拔出願資格審査申請書（本研究科所定様式）
- イ 最終学歴卒業（見込）証明書（コピーは無効。日本語表記以外は日本語訳を添付のこと）
- ウ 最終学歴成績証明書（コピーは無効。日本語表記以外は日本語訳を添付のこと）
- エ 志望理由書（A 4 用紙 1 枚程度、様式任意）
- オ 宛先に申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した封筒（長形 3 号、たて 23.5 cm×よこ 12.0 cm、速達料金を含む 350 円分の切手を貼ったもの） 1 枚
- (2) 受付期間
 夏季試験：平成 23 年 6 月 13 日(月)から 6 月 17 日(金)まで(6 月 17 日消印有効)
 * 冬季試験実施の場合
 冬季試験：平成 23 年 11 月 28 日(月)から 12 月 2 日(金)まで(12 月 2 日消印有効)
- (3) 提出先
 首都大学東京 都市環境科学研究科教務係（〒192-0397 八王子市南大沢 1-1）
 * 「書留速達」とし、封筒（角型 2 号。A 4 サイズが折らずに入る大きさ）の表面左脇に『都市環境科学研究科 博士前期課程 都市システム科学域 社会人入学資格審査申請』と明記してください。
- (4) 出願資格審査書類の請求方法
 下記の封筒とメモを同封して「(3) 提出先」へ郵送等で請求してください。
 ・ 80 円分の切手を貼り、申請者の宛先を明記した長形 3 号（たて 23.5 cm×よこ 12.0 cm）の封筒
 ・ 申請者の住所、氏名、連絡先（携帯電話番号等）及び志望予定学域名と
 「都市環境科学研究科 博士前期課程 都市システム科学域 社会人入学資格審査書類請求」と明記したメモ
- (5) 個別の出願資格審査において、出願資格があると認められた方に対して「出願許可証」を交付します。
 なお、「出願資格審査」を受けなかった方は、出願後、受験不適格の理由で受験を許可されないことがあります。
- 4 事前協議
 「3 出願資格」の①に該当し定職に就いている場合は、出願に先立って指導を希望する教員に連絡をとり、研究内容、研究計画などについて協議してください。また、在職を証明する書類（身分証明書、健康保険証等のコピー）を上記、出願資格審査用提出書類と一緒に提出してください。
 外国人の方は、「外国人登録原票記載事項証明書」（コピーは無効。出願以前 3 ヶ月以内に発行されたもの）を提出してください。
 なお、日本国内で住所が定まっていない方はパスポートの写しを提出してください。

〈外国人特別選抜〉実施時期：冬季試験

出願手続については、冬季試験のページ（p.7・11）を参照してください。

都市及び都市問題の総合的・学術的な比較研究をめざす都市システム科学域では、外国人特別学生（留学生）を若干名募集し、入学者選抜を行います。
 なお、都市システム科学域での講義等は、原則として日本人学生と一緒に日本語で行います。

- 1 募集人員
 若干名（1～2 名程度）
- 2 出願資格
 次のいずれかに該当する者
 (1) 外国人であって、外国において学校教育における 16 年の課程を修了し、学士の学位を得た者
 (2) 外国人であって、外国において上記に準ずる学力を修得し、かつ、相当の年齢に達していること
 本研究科が認めた者
- 3 出願審査資格
 上記「2 出願資格」の(2)により出願しようとする方は、出願に先立って資格審査を行います。下記要領で提出してください。
 (1) 提出書類
 ① 外国人特別選拔出願資格審査申請書（本研究科所定様式）
 ② 出身大学の卒業証明書（コピーは無効。日本語表記以外は日本語訳を添付のこと。必要により「学位取得証明書」を添付する。）

- ③ 出身大学の成績証明書（コピーは無効。日本語表記以外は日本語訳を添付のこと）
 - ④ 研究従事歴を証明する書類（日本語表記以外は日本語訳を添付のこと）
 - ⑤ 宛先に申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した封筒（長形 3 号、たて 23.5 cm×よこ 12.0 cm、速達料金を含む 350 円分の切手を貼ったもの） 1 枚
 - ⑥ 口頭試問面接票（本研究科所定様式・本冊子に綴じ込み）
 - ⑦ 研究希望調書（本研究科所定様式・本冊子に綴じ込み）
- (2) 受付期間
 冬季試験：平成 23 年 11 月 28 日(月)から 12 月 2 日(金)まで
郵送による申請はできません。原則、本人が窓口へ直接提出してください。
 受付時間は期間中の 10:00～12:00 及び 14:00～17:00 です。
 なお、期間外及び時間外の受付は一切できませんので注意してください。
- (3) 提出先
 首都大学東京 都市環境科学研究科教務係（南大沢キャンパス 9 号館 2 階）
- (4) 出願資格審査書類の請求方法
 下記の封筒とメモを同封して「(3) 提出先」へ郵送等で請求してください。
 ・ 80 円分の切手を貼り、申請者の宛先を明記した長形 3 号（たて 23.5 cm×よこ 12.0 cm）の封筒
 ・ 申請者の住所、氏名、連絡先（携帯電話番号等）及び志望予定学域名と
 「都市環境科学研究科 博士前期課程 都市システム科学域 外国人留学生特別選抜入学資格審査書類請求」と明記したメモ
- (5) 個別の出願資格審査において、出願資格があると認められた方に対して「出願許可証」を交付します。
 なお、「出願資格審査」を受けなかった方は、出願後、受験不適格の理由で受験を許可されないことがあります。

○観光科学域

〈外国人特別選抜〉実施時期：夏季試験

出願手続などの時期や内容は、夏季試験のページ (p.7・10) を参照のこと

観光科学域では、通常の博士前期課程学生以外に募集人員内で外国人学生も募集します。
 なお、下記の出願資格(1)以外の者は、出願に先立ち事前協議と出願資格審査が必要です。

1 出願資格

次のいずれかに該当する者

- (1) 外国人であって、外国において学校教育における 16 年の課程を修了し、学士の学位を得た者
- (2) 外国人であって、外国において上記に準ずる学力を修得し、かつ、相当の年齢に達していると
 本研究科が認めた者

2 出願審査資格

上記「1 出願資格」の(2)により出願しようとする方は、出願に先立って資格審査を行います。下記要領で提出してください。

(1) 提出書類

- ① 外国人特別選抜出願資格審査申請書（本研究科所定様式）
- ② 出身大学の卒業証明書（コピーは無効。日本語表記以外は日本語訳を添付のこと。
 必要により「学位取得証明書」を添付する。）
- ③ 出身大学の成績証明書（コピーは無効。日本語表記以外は日本語訳を添付のこと）
- ④ 研究従事歴を証明する書類（日本語表記以外は日本語訳を添付のこと）
- ⑤ 宛先に申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した封筒（長形 3 号、たて 23.5 cm×よこ 12.0 cm、速達料金を含む 350 円分の切手を貼ったもの） 1 枚

(2) 受付期間

夏季試験：平成 23 年 6 月 13 日(月)から 6 月 17 日(金)まで（6 月 17 日消印有効）

郵送による申請はできません。原則、本人が窓口へ直接提出してください。

受付時間は期間中の 10:00～12:00 及び 14:00～17:00 です。

なお、期間外及び時間外の受付は一切できませんので注意してください。

(3) 提出先

首都大学東京 都市環境科学研究科教務係（南大沢キャンパス 9 号館 2 階）

(4) 出願資格審査書類の請求方法

下記の封筒とメモを同封して「(3) 提出先」へ郵送等で請求してください。

- ・ 80 円分の切手を貼り、申請者の宛先を明記した長形 3 号（たて 23.5 cm×よこ 12.0 cm）の封筒
- ・ 申請者の住所、氏名、連絡先（携帯電話番号等）及び志望予定学域名と

「都市環境科学研究科 博士前期課程 観光科学域 外国人特別選抜出願協議申請書請求」と明記したメモ

(5) 個別の出願資格審査において、出願資格があると認められた方に対して「出願許可証」を交付します。

なお、「出願資格審査」を受けなかった方は、出願後、受験不適格の理由で受験を許可されないことがあります。

5 事前協議

社会人入学及び身体に障がいを持つため受験上特別な配慮を希望する方は、事前協議が必要です。

(1) 地理環境科学域・観光科学域「社会人入学出願事前協議」について

地理環境科学域、観光科学域では、通常の博士前期課程学生以外に募集人員内で社会人学生を募集します。

なお、地理環境科学域では、大学院設置基準第14条に定める教育方法の特例に従い、昼夜開講あるいは土曜日による教育も実施しています。

① 応募資格

「2 出願資格」(p.1)のいずれかに該当し、かつ、入学時まで同一の企業、研究又は教育機関において1年以上正規の職員として勤務し、所属長の承認を受けて入学後も引き続き在職できる方

② 提出書類

ア 履歴書(本研究科所定の様式)

イ 所属長の出願承認書(本研究科所定の様式)

ウ 研究志望調書(本研究科所定の様式又はそれに沿って作成されたもの)

エ 最終学歴卒業(見込)証明書

オ 宛先に申請者の郵便番号、住所、氏名を明記した封筒(長形3号、たて23.5cm×よこ12.0cm、速達料金を含む350円分の切手を切手を貼ったもの)1枚

③ 受付期間

・夏季試験：平成23年6月13日(月)から6月17日(金)まで(6月17日消印有効)

・冬季試験：平成23年11月28日(月)から12月2日(金)まで(12月2日消印有効)

提出期限を過ぎての書類の提出は受け付けませんので、提出方法と受付期間に注意してください。

④ 提出先

首都大学東京 都市環境科学研究科教務係(〒192-0397 東京都八王子市南大沢1-1)

*「書留速達」とし、封筒(角型2号、A4サイズが折らずに入る大きさ)の表面左脇に『都市環境科学研究科 博士前期課程 社会人入学出願協議申請((地理)ないしは(観光)のいずれか一方を記入)』と明記してください。

⑤ 事前協議書類の請求方法

下記の封筒とメモを同封して「(④ 提出先)へ郵送等で請求してください。

・80円分の切手を貼り、申請者の宛先を明記した長形3号(たて23.5cm×よこ12.0cm)の封筒

・申請者の住所、氏名、連絡先(携帯電話番号等)及び志望予定学域名と

「都市環境科学研究科 博士前期課程 社会人入学出願協議申請書類請求((地理)ないしは(観光)のいずれか一方を記入)」と明記したメモ

⑥ 事前協議審査において、受験を承諾した方に「受験承諾書」を交付します。

なお、「受験承諾書」を受けなかった方は、出願後、受験不適格の理由で受験を許可されないことがあります。

(2) 身体に障がいがあるため、受験及び修学に際して特別な配慮を希望する方は、事前に下記要領で申し出てください。

① 申出期間

・夏季試験：平成23年6月13日(月)から6月17日(金)まで(6月17日消印有効)

・冬季試験：平成23年11月28日(月)から12月2日(金)まで(12月2日消印有効)

② 申出書請求先及び申出先

首都大学東京 都市環境科学研究科教務係(電話042-677-1111 内線4026)

(電話にて請求してください) 受付時間は、10:00~12:00 及び 14:00~17:00 です。

*なお、質問及び相談については上記申出期間前でも受け付けます。

6 出願手続（全学域・全試験共通）

出願書類	注意事項等
①入学願書	<ul style="list-style-type: none"> 本研究科所定の様式を使用してください。 「希望分野」は、第一希望、第二希望それぞれにコード（p.19の「平成24年度都市環境科学研究科指導教員及び研究分野」を参照）を記入してください。（例：地理環境科学域101～105）
②受験票 写真票 机上票	<ul style="list-style-type: none"> 本研究科所定の3連様式。各々は切り離さずに提出してください。 写真は、出願以前3ヶ月以内に正面、無帽で上半身を撮影したもの。（たて4cm×よこ3cm）
③成績証明書	<ul style="list-style-type: none"> 出身大学の学長又は学部長が作成したもの 首都大学東京在學生は提出不要。
④卒業（見込）証明書	<ul style="list-style-type: none"> 外国の学校又は機関等が作成し、日本語、英語表記以外で発行されたものは、日本語訳を添付してください。
⑤入学考査料	<p>30,000円</p> <p>本学所定の「振込依頼書」で銀行にて払込（*p.8「9 入学考査料の振込について」を参照）のうえ、取扱銀行収納印の押された「振込金（兼手数料）受取書」のコピーを入学願書裏面の所定欄に貼ってください。「振込金（兼手数料）受取書」（原本）も一緒に提出してください。納付の確認後、返還します。</p> <p>なお、出願書類受理後は、いかなる理由があっても納付された入学考査料を返還しません。</p>
⑥受験票送付用封筒	本研究科所定の封筒に、郵便番号、住所、氏名を明記し、350円分の切手（速達料金含む）を貼ってください。
⑦TOEFL、TOEIC 公式スコア	都市基盤環境学域、建築学域もしくは都市システム科学域を受験予定の方は、各学域別の頁を参照してください。 なお、TOEFL実施機関（ETS）から Official Score Record を首都大学東京（Tokyo Metropolitan University）に送付する手続をとる必要があります。首都大学東京のコード番号は「7169」です。
⑧外国人登録原票 記載事項証明書等	外国籍の方のみ提出（出願以前3ヶ月以内に発行されたもの）。 なお日本国内で住所が定まっていない方はパスポートの写しを提出してください。
⑨外国人特別学生 入学志願者調査書	本研究科所定様式。外国籍の方のみ提出。
⑩口頭試問面接票	本研究科所定様式。都市システム科学域志願者のみ提出。
⑪研究希望調査書	本研究科所定様式。都市システム科学域志願者のみ提出。
⑫研究計画書	本研究科所定様式。建築学域志願者のみ提出。
⑬志望調査書	本研究科所定様式。分子応用化学域志願者のみ提出。
⑭「出願許可書」等の 写し	出願資格審査又は社会人入学出願協議を受けて「出願許可証」又は「受験承諾書」を交付された方はその写しを添付してください。

※出願書類の「本研究科所定様式」は、本冊子に綴じ込んであります。

※提出部数は、特に部数を明記してあるもの以外は1部です。

※上記の出願書類を事前の出願資格審査等で、すでに提出済みの方は提出は不要です。

7 出願に際しての注意事項

- 都市環境科学研究科では、複数学域への併願は認めません。
- 出願資格審査などで、すでに提出済みの書類は提出不要です。
- 外国の学校又は機関等が作成した書類が日本語表記以外で作成されたものは、日本語訳を添付してください。
- 出願書類等に不備がある場合は受け付けません（不受理となります）。
- 受理された書類はいかなる理由があっても返却しません。
- 出願書類受理後は、いかなる理由があっても納付された入学考査料を返還しません。
- 入学許可後であっても受験中あるいは出願手続に不正があったと認められた場合には、入学許可を取り消します。

8 個人情報の取扱いについて

首都大学東京では、個人情報について以下のとおり法令に基づき取り扱いますので、あらかじめご了承ください。

- (1) 本学への受験の際にお知らせいただいた氏名、住所等の個人情報については、入学志願者選抜（出願処理、選抜実施及び合格発表）及び入学手続を行うために使用します。また、入学者のみ、①教務関係（学籍、修学指導等）、②学生支援関係（健康管理、就職支援、授業料減免、奨学金申請等）、③授業料徴収に関する業務を行うために使用します。
- (2) 入学者選抜に用いた試験成績は、今後の入学者選抜方法の検討資料の作成等に使用することがあります。

9 入学考査料の振込について

- (1) 募集要項に挟んである振込依頼書により銀行振込（電信扱）してください。その際の振込手数料は各自で負担してください。なお、「みずほ銀行」の本・支店で振込む場合、手数料はかかりません。
- (2) 郵便局では振込できません。
- (3) 郵便普通為替証書又は現金を入学願書に同封し納付することはできません。
- (4) **ATM（現金自動預け払い機）から振込まないでください。**
- (5) 振込依頼書の氏名欄には、出願者本人の氏名を記入してください。

※入学考査料の返還手続案内

入学考査料を納付したが出願しなかった場合又は入学考査料を誤って二重に納付した場合などは、返還申請ができます。①返還申請の理由、②振込者氏名、③現住所、④連絡先電話番号を明記した「入学考査料返還申請書」（様式自由）及び「振込金（兼手数料）受取書」（原本【コピー不可】）を同封して、下記担当へ郵送してください。折り返し必要書類を送付します。

送付先：〒192-0397 東京都八王子市南大沢一丁目1番地

公立大学法人首都大学東京総務部会計管理課資金管理係

電話 042-677-1111 内線 1046

10 入学手続、入学料及び授業料等

(1) 入学手続

合格者（夏季試験、冬季試験とも）には、3月上旬に、「入学手続書類」を送付します。指定した日時までに書類を都市環境科学研究科教務係へ送付してください。これらの手続をしないため入学の意志が確認できない場合、あるいは記入漏れなどがある場合は、入学を許可しないことがあります。

なお、今年度の入学手続期間は以下を予定しておりますが、変更もありますのでご注意ください。

入学手続期間（予定）…平成24年3月5日（月）から3月8日（木）まで（3月8日書類必着）

(2) 入学料

- ・東京都の住民(*) 141,000円(予定金額)
- ・上記以外の方 282,000円(予定金額)

*「東京都の住民」とは、本人又は配偶者もしくはは一親等の親族が入学の日（平成24年4月1日）の1年前（平成23年4月1日）から引き続き東京都内に住所を有する方をいいます。その認定は、本人が都内に在住の場合は本人の「住民票記載事項証明書」、本人以外の方の場合は、都内に在住する親族等の「住民票記載事項証明書」及び本人との親族関係を明らかにする戸籍抄本等により行います。

(3) 授業料

年 額 520,800円(平成23年度現在*)

- *入学時又は在学中に授業料の改定があった場合には、改定後の金額が適用されます。
- ・入学料及び授業料の納入方法等の詳細については、入学手続書類の中で説明します。
- ・授業料には、減額又は免除の制度があります。

(4) 奨学金制度

入学後、「日本学生支援機構」の奨学生に採用された方には「奨学金」が貸与されます。

11 過去に出題された問題の閲覧及び入手方法について

首都大学東京 都市環境科学研究科教務係へ問い合わせてください。

(電話 042-677-1111 内線 4026)

12 長期履修制度について

本学大学院では、学生が、職業を有している等の事情により標準修業年限（博士前期課程2年）を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し修了することを希望する場合に、その計画的な履修を認める制度を設けています。

長期履修を認められた学生は、標準修業年限において支払う授業料の総額を、認められた長期在学期間に分割して支払うことができます。

〈対象者〉

以下のいずれかの理由により、標準修業年限内での修業が困難な者

- (1) 職業を有している者
- (2) 出産、育児、介護を行う必要がある者
- (3) その他、研究科において適当と認める者

〈申請方法等〉

入試出願時に申請を行い、合格通知とともに長期履修制度の利用の可否を通知します。本研究科所定様式の「長期履修申請書」を出願時に提出してください。

なお、長期履修制度を利用せずに入学者に入学した在学生についても、職場事情の変化等の特別な事情があった場合は、中途での長期履修の申請を認め、利用を希望する年度の前年度に受け付けます（ただし、最終年次の学生は申請することができません）。

※詳細につきましては、首都大学東京 都市環境科学研究科教務係へ問い合わせてください。
(電話 042-677-1111 内線 4026)

13 都市環境マイスターコースについて

平成23年度より、分野横断的教育研究の推進により、都市環境科学を総合的に社会で実践する専門家（都市環境マイスター）を育成するために、学域を超え、学際的かつ実践的な研究に取り組む博士前期課程のコースとして「都市環境マイスターコース」を複数設け、学生募集を行っています。都市環境マイスターコースに入学した学生は、当該都市環境マイスターコース教員（異なる複数の学域の3名以上の教授・准教授）のうち一人を指導教員として研究指導を受けますが、演習などを通して当該都市環境マイスターコースの他の教員からも指導・助言等を受けます。各都市環境マイスターコースの定員は6名であり、独立の研究のための部屋が用意されていますが、学籍上は指導教員の所属する学域に属します。**試験は、指導教員の所属する学域で受験します。**

平成24年度に学生募集する都市環境マイスターコースは、都市大気環境のみです。概要は、次のURLを参照してください。<http://www.ues.tmu.ac.jp/graduate.html>

なお、都市環境マイスターコースの出願希望者は、手続に先立ち、指導を希望する分野の指導教員と事前に面談してください。

※詳細につきましては、首都大学東京 都市環境科学研究科教務係へ問い合わせてください。
(電話 042-677-1111 内線 4026)

〈夏季試験〉

1 出願受付期間

(1) 学域別受付期間

- ・分子応用化学域

：平成23年7月4日（月）から 7月8日（金）まで（7月8日消印有効）

- ・地理環境科学域、都市基盤環境学域、建築学域、都市システム科学域及び観光科学域

：平成23年7月18日（月）から 7月22日（金）まで（7月22日消印有効）

*出願は、郵送のみ受け付けます。

*本冊子に綴じ込んである本研究科所定の封筒を使用し、首都大学東京 都市環境科学研究科教務係あてに必ず「**書留速達**」で送付してください。

(2) 出願書類は、p.7「6 出願手続」を参照してください。

2 受験票の送付

受理した書類を点検・確認・受理後、受験票を発送します。

- ・分子応用化学域にあつては平成23年7月20日（水）まで

- ・地理環境科学域、都市基盤環境学域、建築学域、都市システム科学域及び観光科学域にあつては平成23年8月3日（水）まで

上記日程までに受験票がお手元に届かない場合は、首都大学東京 都市環境科学研究科教務係まで連絡してください。（電話 042-677-1111 内線 4026）

【注意】試験当日は、必ず受験票を携帯してください。

3 選考日程及び試験科目

各学域のページを参照してください。

4 選考方法

選考は、提出された書類の審査及び本研究科が行う学力試験、面接等の結果により行います。

5 合格発表

(1) 日時 ・分子応用化学域 ；平成23年8月12日（金）14:00

- ・地理環境科学域、都市基盤環境学域、建築学域、都市システム科学域及び観光科学域
：平成23年8月24日（水）14:00

(2) 発表場所：首都大学東京 都市環境科学研究科事務室前（9号館2階）

【注意】電話による合否の問い合わせには応じられません。

*なお、「合格者一覧」（受験番号のみ掲載）の送付申込を事前に受け付けます。希望する方は、試験終了後（試験期間が2日以上の場合は、試験最終日の試験終了後）、350円分の切手（速達料金を含む）を貼り、宛先に送付希望者の郵便番号、住所、氏名を明記した封筒（長形3号、たて23.5cm×よこ12.0cm）を都市環境科学研究科教務係へ提出してください。

※都市環境科学研究科の夏季試験に合格した者は、当研究科の冬季試験には出願できません。

6 合格通知書の交付

受験票と引き換えに都市環境科学研究科教務係において合格通知書等を交付します。

必ず受験票をご持参ください。

(1) 分子応用化学域

- ・交付期間及び時間：平成23年8月12日（金）14:00～17:00

〃 8月15日（月）10:00～12:00、14:00～17:00

〃 8月16日（火）10:00～12:00、14:00～17:00

(2) 地理環境科学域、都市基盤環境学域、建築学域、都市システム科学域及び観光科学域

- ・交付期間及び時間：平成23年8月24日（水）14:00～17:00

〃 8月25日（木）10:00～12:00、14:00～17:00

〃 8月26日（金）10:00～12:00、14:00～17:00

なお、直接受け取れない方又は上記期間に受け取れない方は、都市環境科学研究科教務係へ申し出てください。

7 その他

都市システム科学域・観光科学域の（夏季試験）特別選抜については、P.3の4 「特別選抜」出願資格審査のページと同学域のページを参照してください。

〈冬季試験〉

1 出願受付期間

(1) 平成 24 年 1 月 16 日 (月) から 1 月 20 日 (金) まで (1 月 20 日消印有効)

*出願は、郵送のみ受け付けます。

*本冊子に綴じ込んである本研究科所定の封筒を使用し、首都大学東京 都市環境科学研究科教務係あてに必ず「書留速達」で送付してください。

(2) 出願書類は、p.7「6 出願手続」を参照してください。

2 受験票の送付

受理した書類を点検・確認・受理後、受験票を発送します。平成 24 年 2 月 1 日 (水) までに受験票がお手元に届かない場合は、首都大学東京 都市環境科学研究科教務係まで連絡してください。

(電話 042-677-1111 内線 4026)

【注意】試験当日は、必ず受験票を携帯してください。

3 選考日程及び試験科目

各学域のページを参照してください。

4 選考方法

選考は、提出された書類の審査及び本研究科が行う学力試験、面接等の結果により行います。

5 合格発表

日時：平成 24 年 2 月 20 日 (月) 14:00

場所：首都大学東京 都市環境科学研究科事務室前 (9 号館 2 階)

【注意】電話による合否の問い合わせには応じられません。

*なお、「合格者一覧」(受験番号のみ掲載)の送付申込を事前に受け付けます。希望する方は、試験終了後(試験期間が 2 日以上の場合は、試験最終日の試験終了後)、350 円分の切手(速達料金を含む)を貼り、宛先に送付希望者の郵便番号、住所、氏名を明記した封筒(長形 3 号、たて 23.5 cm×よこ 12.0 cm)を都市環境科学研究科教務係へ提出してください。

6 合格通知書の交付

受験票と引き換えに都市環境科学研究科教務係において合格通知書等を交付します。

必ず受験票をご持参ください。

・交付期間及び時間：平成 24 年 2 月 20 日 (月) 14:00 ~ 17:00

〃 2 月 21 日 (火) 10:00 ~ 12:00、14:00 ~ 17:00

〃 2 月 22 日 (水) 10:00 ~ 12:00、14:00 ~ 17:00

なお、直接受け取れない方又は上記期間に受け取れない方は、都市環境科学研究科教務係へ申し出てください。

7 その他

(1) 都市システム科学域(冬季試験)の外国人留学生特別選抜については、P.3 からの 4 「特別選抜」出願資格審査のページと同学域のページを参照してください。

(2) 建築学域の一般選抜、都市システム科学域の一般選抜・社会人特別選抜の冬季試験実施の有無は、平成 23 年 9 月 1 日 (木) 以降に発表します。都市環境科学研究科教務係まで問い合わせてください。

<学域別試験日程>

地理環境科学域

◎ 試験日程、試験科目、試験時間及び注意事項

<夏季試験>

日 程	試験科目	試験時間	配 点
8月10日(水)	外国語(英語)	10:00~12:00	200
	専門科目*	13:30~15:30	200
8月11日(木)	面接(口頭試問を含む) (分野別・共通)	9:00~	100

* 8月10日の専門科目試験終了後、16:00~17:00に入学後の研究計画等の作成がある。

<冬季試験>

日 程	試験科目	試験時間	配 点
2月8日(水)	外国語(英語)*	9:30~11:00	200
	面接(口頭試問を含む) (分野別・共通)**	13:00~	200

* 英語試験終了後、11:00~12:00に入学後の研究計画等の作成がある。

** 他大学からの受験者は、面接(口頭試問を含む)(共通)で卒業研究の発表(10分以内)を行う。

発表方法は、レジュメ配布、ないしはPCプロジェクター使用のいずれでもよい。
なお、面接会場にはWindowsOSのPCにPowerPoint2007がインストールされているので、発表原稿を格納したUSBメモリを持参してもよい。
Mac使用の場合、USBメモリとともにパソコンも持参のこと。

<受験に際しての注意事項>

- 1 試験当日は、試験開始20分前までに定められた試験会場への入室を済ませること。
- 2 携帯電話の時計としての使用は不可。

都市基盤環境学域

◎ 試験日程、試験科目、試験時間及び注意事項

〈夏季試験〉

日 程	試験科目	試験時間	配 点
8月9日(火)	専門科目(一)	9:00~10:30	200
	専門科目(二)	11:00~12:00	100
8月10日(水)	面接(口頭試問を含む)	13:00~	100
—	外国語(英語)*	—	100

- ・専門科目(一)：数学(微分積分、線形代数)
- ・専門科目(二)：専門記述(都市基盤環境学に関するテーマについて、1,000字程度の論述解答)

〈冬季試験〉

日 程	試験科目	試験時間	配 点
2月9日(木)	専門科目	10:00~11:30	200
	面接(口頭試問を含む)	13:30~	100
—	外国語(英語)*	—	100

- ・専門科目：小論文または数学(微分積分、線形代数)

* 外国語(英語)の試験について

TOEFLスコア(Examinee's Score Record)もしくはTOEIC公開テストのスコア(過去5年以内)の原本を試験日(夏季は8月9日、冬季は2月9日)に提出すること。

なお、スコアは100点満点に換算される。

■TOEFL公式スコアは、TOEFL-PBT、TOEFL-iBT、TOEFL-CBTのスコアが有効。TOEFL-ITP(団体テスト)は不可。

TOEFLのスコアを提出する受験生は、入手が可能な場合(過去2年の間にTOEFLを受験した場合)は、6月30日までにETSにOfficial Score Recordを請求し、かつExaminee's Score Recordの写しを試験日(夏季は8月9日、冬季は2月9日)に提出してください。

■TOEIC公開テストのスコアは、TOEIC-TESTを対象とし、TOEIC-IP(団体テスト)は認めず。TOEIC SW-TESTは不可。

TOEICのスコアを提出する受験生は、スコアの原本を試験日(夏季は8月9日、冬季は2月9日)に持参してください。

複写をとらせていただいた上で返却します。

〈受験に際しての注意事項〉

- 1 試験当日は、試験開始20分前までに定められた試験会場への入室を済ませること。
- 2 携帯電話の時計としての使用は不可。
- 3 必ず、事前に希望する指導教員に研究内容などについて相談のうえ出願手続を行うこと。
- 4 募集人員は、原則、各指導教員3名とする。

建築学域

◎ 試験日程、試験科目、試験時間及び注意事項

〈夏季試験〉

日 程	試験科目	試験時間	配点* ¹	配点* ²
8月 9日(火)	専門科目 (一)	9:00～12:00	300	200
	専門科目 (二)	13:30～15:30* ³		100
8月10日(水)	面接 (口頭試問を含む)	13:00～	100	100
—	外国語 (英語) *	—	100	100

* 外国語 (英語) の試験について

2009年8月9日以降に受験した TOEFL スコア (Examinee's Score Record) もしくは TOEIC 公開テストのスコアの原本を試験日 (8月9日) に提出すること。

なお、スコアは学域内基準に基づき 100 点満点に換算される。ただし、TOEFL-PBT 換算で 550 点以上、TOEIC で 730 点以上は満点扱いとする。

■ TOEFL 公式スコアは、TOEFL-PBT、TOEFL-iBT のスコアが有効。TOEFL-CBT、TOEFL-ITP (団体テスト) は不可。

TOEFL のスコアを提出する受験生は、入手が可能な場合 (過去 2 年の間に TOEFL を受験した場合) は、6 月 30 日までに ETS に Official Score Record を請求し、かつ Examinee's Score Record の写しを試験日 (8 月 9 日) に提出してください。

■ TOEIC 公開テストのスコアは、TOEIC-TEST を対象とし、TOEIC-IP (団体テスト) は認めず。TOEIC SW-TEST は不可。

TOEIC のスコアを提出する受験生は、スコアの原本を試験日 (8 月 9 日) に持参してください。複写をとらせていただいた上で返却します。

* 1 : 専門科目 (二) を受験しない場合の配点。

* 2 : 専門科目 (二) として「建築設計」を選択した場合の配点。

* 3 : 「建築設計」選択者は、受験者数により終了時刻が延びることがある。

・ p. 15 の「建築学域志望者への注意」を熟読すること。

〈冬季試験〉

夏季試験において合格者が募集人員に満たない場合は、冬季試験を行うことがある。

〈受験に際しての注意事項〉

- 1 試験当日は、試験開始 20 分前までに定められた試験会場への入室を済ませること。
- 2 携帯電話の時計としての使用は不可。
- 3 試験では、電卓 (四則演算、関数機能までのもの。プログラムを組めるものは不可)、定規及びコンパス使用を許可する。辞書等の持ち込みは不可。

建築学域志望者への注意（平成24年度入試）

1. 専門科目（一）について

専門科目（一）の問題は、次表の6グループ、12分野から各分野2問ずつ、計24問出題されます。例えば、Aグループからは、微分積分の分野から2問、線形代数の分野から2問の計4問が出題されます。この24問のうち、5グループから2問ずつ、さらに残った14問から5問の計15問を選んで解答します。各グループから2問選択するとき、例えばAグループでは、微分積分から1問、線形代数から1問としてもよいし、微分積分または線形代数のみ2問でもかまいません。

なお、15問を超えて解答することもできます。ただし、その場合の得点は全合計ではなく下記の(1)及び(2)の合計とします。

- (1) 各グループごとに得点が高い順に2問抽出し、その合計が高いものから5グループ10問を選ぶ。
- (2) 残った14問から得点が高い順に5問を選ぶ。

なお、問題の選択は試験時に行いますので、事前の調査は行いません。また、各問の配点は均等です。

グループ	出題分野
A	微分積分*1、線形代数*1
B	構造力学、建築構造学*2
C	建築材料学、建築構法学*3
D	建築環境学、建築環境システム
E	建築計画学、都市計画学
F	建築史学、建築意匠・設計学

*1 大学教養数学程度を出題範囲とする。

*2 鉄骨造、RC造を出題範囲とする。

*3 建築生産学を含む。

2. 専門科目（二）について

専門科目（二）として「建築設計」の科目を選択することができます。「建築設計」の科目を選択する場合、研究計画書の専門科目（二）で「建築設計」の欄に丸印を記入してください。「建築設計」では、ポートフォリオ（A2版クリアファイル20頁程度、共同での作品は2点までとし、ポートフォリオ内に明記しておくこと。）を用いた口頭試問を含む試験を行うので、試験時にポートフォリオを持参してください。

3. 研究計画書について

建築学域を志望するものは、研究計画書を応募手続時に提出する必要があります（面接の参考とします）。

- ① 第1志望・第2志望の欄には、基盤研究コースでは指導教員名、プロジェクト研究コースでは「プロジェクトX」を記入してください。
- ② 専門科目（二）の欄では、志望する教員と相談のうえ、「受験しない」、「建築設計」の2つの中から1つに○をつけてください。応募以降に変更することはできません。
- ③ 研究計画の欄には、あなたが博士前期課程において探究したい課題の内容と探究方法を記入してください。形式は自由とします。第二志望のある場合は、必ず裏面に第二志望での研究計画を記載してください。記入に当たっては、第一志望、第二志望ともに志望する教員に事前に連絡を取り十分に相談してください。

なお、ワードプロセッサの使用を可とします。両面複写したものを提出しても結構です。ただし別紙の貼付け（枠内含む）、添付はできません。

4. その他の注意事項

- ① 募集人員は、原則として、基盤研究コースでは各指導教員3名程度、プロジェクト研究コースでは1プロジェクト4名程度とします。
- ② 第2志望のない人は、入学願書及び研究計画書の第2志望の欄に「なし」と記入してください。

都市システム科学域

◎ 試験日程、試験科目、試験時間及び注意事項

〈夏季試験〉（一般選抜、社会人特別選抜）

日 程	試 験 科 目		試験時間	試験内容等	配 点
8月10日(水)	筆答試験	専門科目	9:30～11:30	希望する分野に関する専門知識を問う。	100
		小論文	12:30～14:30	都市に関するテーマについて小論文にまとめる。	100
8月11日(木)	面接（口頭試験を含む）**		9:30～	口頭試験面接票、研究希望調書等に基づいて口頭試験を行う。	100
—	外国語（英語）*		—	—	100

* 外国語（英語）の試験について

英語の能力を証明するため、一般選抜は2009年8月10日以降に受験したTOEFLスコア(Examinee's Score Record)もしくはTOEIC公開テストのスコアの原本を試験日(8月10日)に提出することを求めます。スコアは学域内基準に基づき100点満点に換算します。

* 社会人特別選抜については、外国語試験を行いません。

■TOEFL公式スコアは、TOEFL-PBT、TOEFL-iBTのスコアが有効。TOEFL-CBT、TOEFL-ITP(団体テスト)は不可。

TOEFLのスコアを提出する受験生は、入手が可能な場合(過去2年の間にTOEFLを受験した場合)は、6月30日までにETSにOfficial Score Recordを請求し、かつExaminee's Score Recordの写しを試験日(8月10日)に提出してください。

■TOEIC公開テストのスコアは、TOEIC-TESTを対象とし、TOEIC-IP(団体テスト)は認めず。

TOEIC SW-TESTは不可。

TOEICのスコアを提出する受験生は、**スコアの原本**を試験日(8月10日)に持参してください。複写をとらせていただいた上で返却します。

** 面接(口頭試験を含む)の時間については、受験者数等の都合により変動する場合がありますので、前日の筆答試験の際の伝達事項に十分注意して下さい。

〈受験に際しての注意事項〉

- 1 試験当日は、試験開始20分前までに定められた試験会場への入室を済ませること。
- 2 携帯電話の時計としての使用は不可。

〈冬季試験〉（外国人特別選抜）

日 程	試験科目	試験時間	試験内容等	配 点
2月8日(水)	筆答試験	12:30～14:30	都市科学に関する専門的な問題について問う。	100
2月9日(木)	面接（口頭試験を含む）	9:30～	専門科目・研究計画等について、原則として日本語で行う。	100

〈受験に際しての注意事項〉

- 1 試験当日は、試験開始20分前までに定められた試験会場への入室を済ませること。
- 2 携帯電話の時計としての使用は不可。
- 3 筆記試験は、日本語で出題する。解答は、日本語で行う。英語で補足することを認める。
- 4 筆答試験は日本語辞書及びその他の外国語辞書の持ち込みを可とする。但し、電子辞書は不可。

〈一般選抜、社会人特別選抜について〉

夏季試験において合格者が募集人員に満たない場合、冬季試験を行うことがあります。

その場合、冬季試験の外国人特別選抜と同日に、夏季試験の試験時間に準じて実施します。

◎社会人特別選抜、外国人留学生特別選抜の受験には出願資格審査があります。p.3「4 「特別選抜」出願資格審査」の内容を熟読し、書類の提出方法、受付期間に注意の上、必要書類を提出してください。

分子応用化学域

◎ 試験日程、試験科目、試験時間及び注意事項

〈夏季試験〉

日 程	試験科目	試験時間	配 点
7月28日(木)	外国語(英語)	9:00~11:00	160
	有 機 化 学	11:30~12:30	80
	物理化学・無機化学	14:00~16:00	160
7月29日(金)	面接(口頭試問を含む)	13:00~	100

注：個人所有の電卓の持ち込みはできません。試験場にて全員に貸与し、試験終了後に回収します。

〈冬季試験〉

日 程	試験科目	試験時間	配 点
2月9日(木)	外国語(英語)	9:30~11:30	200
2月10日(金)	面接(口頭試問を含む)	10:00~	200

注：面接(口頭試問)について：卒業論文または最近の研究成果の概要について自分のコンピューターを持参して発表する(10分程度)。その後、発表内容について質疑応答を行う。

〈受験に際しての注意事項〉

- 1 試験当日は、試験開始20分前までに定められた試験会場への入室を済ませること。
- 2 携帯電話の時計としての使用は不可。
- 3 面接(口頭試問を含む)では、指定された時刻に集合場所に居ない場合は受験できません。各自の集合時刻と場所は筆記試験終了後に配付します。

観光科学域

◎試験日程、試験科目、試験時間及び注意事項

〈夏季試験〉 一般選抜

日 程	試験科目	試験時間	配点
8月10日(水)	外国語(英語)	9:30~11:30	100
	専門科目*	12:30~14:30	100
	小論文	15:00~17:00	100
8月11日(木)	面接(口頭試問を含む)	9:30~	100

* 都市計画学、交通学、観光学、観光情報学、地理学、生態学、環境学から一科目

〈夏季試験〉 社会人及び外国人特別選抜

日 程	試験科目	試験時間	配点
8月10日(水)	小論文	15:00~17:00	100
8月11日(木)	面接(口頭試問を含む)	9:30~	100

〈冬季試験〉

日 程	試験科目	試験時間	配点
2月8日(水)	小論文	10:00~12:00	100
	プレゼンテーション**	13:00~	200
	・面接(口頭試問を含む)		

** 発表時間一名あたり10~15分。卒業論文・卒業研究あるいは観光に関する研究などの発表。面接会場には WindowsOS の PC に PowerPoint2007 がインストールされているものが用意されている。発表方法はレジュメ配布、OHP ないしパワーポイント(Windows 使用の場合、発表原稿を格納した USB メモリを持参のこと。Mac 使用の場合、USB メモリとともにパソコンも持参のこと。)使用のいずれでもよい。プレゼンテーション・面接(口頭試問を含む)の終了時間は、受験者の数により17:30を過ぎることもある。

〈受験に際しての注意事項〉

- 1 試験当日は、試験開始20分前までに定められた試験会場への入室を済ませること。
- 2 携帯電話の時計としての使用は不可。

◎社会人学生については募集人員内で夏季・冬季試験で募集します。p.6「5 事前協議」の内容を熟読し、書類の提出方法、受付期間に注意の上、必要書類を提出してください。

◎外国人特別選抜の受験には出願資格審査があります。p.3「4 「特別選抜」出願資格審査」の内容を熟読し、書類の提出方法、受付期間に注意の上、必要書類を提出してください。観光科学域の外国人特別選抜に関する記載はp.5にあります。なお、試験は夏季試験で実施されます。

平成24年度 都市環境科学研究科指導教員及び研究分野

- (1) ☆印は平成25年3月に定年退職予定の教員です。
 (2) 右端の101、102・・・の数字は、入学願書の志望分野欄に記入するコードです。
 (3) *印は併任教員です。

学域	分 野		指導教員	研究内容	コード
地 理 環 境 科 学 域	地形・地質学		教授 山崎 晴雄 教授 鈴木 毅彦 准教授 白井 正明	地形学、第四紀学、火山灰層序学、海面変動論、地震地質学、堆積学	101
	気候学		教授 松本 淳 教授 高橋 日出男	気候変動解析、都市気候学、モンスーン気候学、気候環境論	102
	環境地理学		教授 渡邊 眞紀子 准教授 川東 正幸	土壌地理学、地圏生態環境、農業・森林生態系の物質循環、環境動態解析、環境保全・修復	103
	環境変遷学				
	地理情報学		准教授 松山 洋	自然地理情報解析 (GIS)、数値地理モデリング、リモートセンシング	104
	都市・人文地理学		教授 杉浦 芳夫 教授 若林 芳樹 准教授 滝波 章弘	計量地理学、社会経済地理学、都市地理学、行動地理学、文化地理学、GIS	105
	都市環境マイスターコース(1)	都市大気環境	教授 高橋 日出男	都市気候学と大気化学の分野による大都市圏の大気環境に関する学際的研究	001
都 市 基 盤 環 境 学 域	社会基盤		教授 前田 研一☆	吊形式橋梁の構造特性と経済性、新形式・新素材橋梁、複合構造橋梁、維持補修・補強工法の開発	201
			教授 野上 邦栄	吊形式橋梁、鋼合成構造、構造設計・構造安定、維持管理・健全度評価	202
			准教授 小根山裕之	交通工学、交通計画、交通環境、交通シミュレーション、交通ネットワーク解析	203
			准教授 石倉 智樹	都市・地域計画、社会資本制度、公共空間計画、土木環境計画	204
	環境システム		教授 梅山 元彦	非線形海洋波動論、波と流れの相互作用、湖沼および内湾の流動シミュレーション	205
			教授 河村 明	水文現象の予測と制御、都市型水害、アジアの水資源問題、都市防災、河川水文学、水循環工学、環境低負荷トイレ	206
			教授 稲貝とよの	水処理プロセス、リサイクルシステム、都市環境評価と維持管理計画、時系列解析	207
			准教授 横山 勝英	環境水理学、河口域の地形底質変動、河川の土砂動態シミュレーション、ダム貯水池の水理	208
			准教授 荒井 康裕	上水道システム、並びに廃棄物処理・資源循環に関する計画的な研究	209
	安全防災		教授 西村 和夫	都市・山岳部の地下空間構造物と地盤の静的安定・支保構造解析、地下構造物の地震時挙動の解析	210
			教授 宇治 公隆	鉄筋コンクリート構造物の設計・施工、耐久性向上、維持管理、ライフサイクルコスト評価	211
			准教授 小田 義也	物理探査、主に地震波を用いた地下構造探査手法の開発と適用、弾性波モデリング、地震動予測、都市防災	212
			准教授 吉嶺 充俊	土質力学、土質実験、地盤の液状化、廃棄物地盤、地すべり、土質動力学、土圧問題	213
			准教授 上野 敦	コンクリート工学、環境に貢献するコンクリート、コンクリート用材料の特性評価と応用	214

学域	分野	指導教員	研究内容	コード	
建築学域	建築計画・都市計画	教授 上野 淳☆*	地域施設計画、環境心理学、環境行動学、建築規模計画、人間工学	301	
		教授 吉川 徹	都市解析、土地利用計画、公共施設最適配置、都市空間解析	302	
		准教授 鳥海 基樹	都市計画・設計、景観計画・設計、都市／自然論・史、歴史的環境保全	303	
	建築歴史・意匠	教授 小林 克弘	建築設計、建築デザイン理論、建築構成手法、近現代建築論、西洋建築史	304	
		教授 山田 幸正	日本建築史、東洋建築史、都市史、歴史的環境、イスラーム建築、民家	305	
		教授 小泉 雅生	建築設計、住宅計画、意匠設計、設計論	306	
	建築生産	教授 深尾 精一☆	建築構法、構法設計、寸法調整手法、ディテール設計、集合住宅構法	307	
		教授 橋高 義典	建築材料施工、リサイクル材料設計、建物のエイジング、高性能コンクリート	308	
		教授 角田 誠	建築生産、資源問題、リユース・リサイクルシステム、長期耐用設計計画、ストック再生計画	309	
	建築構造	教授 芳村 學	鉄筋コンクリート構造、非線形解析、構造解析、耐震設計、地震工学	310	
		教授 北山 和宏	鉄筋コンクリート構造の理論、耐震構造およびその力学特性の解明	311	
		准教授 高木 次郎	構造設計、鋼構造、構造システム開発	312	
	建築環境	教授 市川 憲良☆	建築環境システム、給排水システム設計、建築水環境	313	
		教授 須永 修通	建築環境学、熱環境、パッシブデザイン、自然エネルギー利用、温熱感、居住環境	314	
		准教授 永田 明寛	建築環境学、熱・湿気環境、建築伝熱解析、建築環境の制御と同定	315	
	トブレ 研究 シ コ エ ク	プロジェクトX	教授 小林 克弘 准教授 永田 明寛 准教授 鳥海 基樹	21世紀のスカイスクレーパーとビジネス・ディストリクト	316
	都市システム科学域	都市情報・空間システム系	教授 玉川 英則	都市・地域解析、地理情報システム、都市・地域計画、計画情報管理	401
准教授 伊藤 史子			都市・地域・環境・社会資本整備の経済評価、都市・地域解析、住宅需給構造分析	402	
都市情報・空間システム系 (他学域を併任)		教授 上野 淳☆	地域施設計画、環境心理学、環境行動学、多摩ニュータウン再生・活性化研究	403	
		教授 加藤 覚	都市情報学、科学情報処理、食品安心プロセス	404	
		未 定	交通工学、交通環境、交通計画、交通流シミュレーション	405	
都市人間・社会システム系		教授 星 且二	健康政策、健康水準、保健医療福祉政策、地域健康計画、ヘルスプロモーション	406	
		教授 竹宮 健司	地域医療施設計画、高齢者福祉施設、地域生活支援施設、環境行動研究	407	
		准教授 櫻庭 伸	都市計画・デザイン、市民参加・協働まちづくり、ワークショップ手法、アジアのまちづくり、NPO/NGO論	408	
		准教授 山本 薫子	都市社会学、コミュニティ論、エスニシティ、インナーエリア、フィールドワークによる都市調査	409	
		准教授 長野 基	都市行政、都市政策、ローカル・ガバナンス、行政評価、分権型社会、比較地方自治	410	
都市情報・空間システム系		准教授 市古 太郎	都市防災学、災害復興史、災害リスク評価、コミュニティ防災、安全安心科学	411	

学域	分野		指導教員	研究内容	コード
分子応用化学域	先端機能物質分野		教授 川上 浩良 准教授 朝山 章一郎	高分子に基づくバイオミメティック、バイオマテリアル、ドラッグデリバリーシステム、エピジェネティクス工学、高分子分離膜、高分子形燃料電池、ナノファイバー	501
			教授 益田 秀樹 准教授 西尾 和之	電気化学プロセスによるナノ規則構造の形成、生体関連物質用精密ろ過フィルター、高密度記録材料、生体関連物質のナノアレイ形成と応用	502
	先端物質デザイン分野		教授 吉田 博久 准教授 山登 正文	多成分系分子集合体の構造制御、マイクロ相分離構造、相転移ならびに分子運動解析、高分子高次構造制御、外部場物性制御	503
			准教授 武井 孝	金クラスターの調製、金クラスターの触媒作用、コロイド・界面化学	-
	エネルギーデバイス分野		教授 金村 聖志 准教授 梶原 浩一	ナノ構造材料に基づく高性能二次電池、マイクロ燃料電池、高効率エネルギー蓄積デバイス、光・電子機能セラミックス・ガラス、深紫外光学材料	504
	環境分子化学分野		准教授 高木 慎介	ナノ構造化学、光化学、エネルギー、人工光合成、ナノ機能性色素材料、粘土鉱物、無機/有機複合体	505
			教授 山口 素夫 准教授 佐藤 潔	酸化触媒、超分子材料、機能性金属錯体、有機-無機複合材料、縮合多環芳香族複素環の合成、アニオンレセプター、クロミック色素、イオン性有機機能材料	506
	分子計測化学分野		教授 内山 一美 准教授 中嶋 秀	マイクロ化学分析、バイオアナリシス、微小化学反応場の構築、環境分析機器開発、インクジェット、原子発光検出、SPR、有機EL	507
			教授 久保 由治	超分子化学、自己組織分子系の創製、高分子ゲル、 π 共役高分子、機能性色素、無機/高分子ハイブリッド	508
	環境調和化学分野		教授 梶井 克純 准教授 加藤 俊吾	光化学オキシダント、都市大気制御、大気酸性化機構、長期大気観測、計測手法開発	509
			教授 加藤 覚*	分離プロセス・バイオディーゼルの燃料製造プロセスの開発、食品安心プロセス、バイオ分離工学	510
	光エネルギー・物質変換分野		教授 井上 晴夫 (戦略研究センター所属) 教授 立花 宏 (大学教育センター所属)	人工光合成、化学反応エネルギー共役、分子系包接環境の光化学と機能発現、人工筋肉	511
	都市環境マイスターコース(1)	都市大気環境	教授 梶井 克純 准教授 加藤 俊吾	大気化学と都市気候学の分野による大都市圏の大気環境に関する学際的研究	001
	観光科学域	観光科学		教授 東 秀紀 教授 清水 哲夫 准教授 川原 晋	文化ツーリズム学、観光まちづくり、都市計画、観光計画、交通学、社会基盤学、都市・地域デザイン、都市・建築文化論、地域・都市経営
教授 菊地 俊夫 教授 小崎 隆 准教授 沼田 真也				自然ツーリズム学(ルーラルツーリズム、エコツーリズム、環境資源利用、環境保全)、人間と自然の共生、人文地理学、環境教育、土壌圏生態学、熱帯生物学、保全生物学	602
教授 本保 芳明 准教授 直井 岳人 准教授 倉田 陽平				観光政策論、観光学原論、国際観光論、ツーリズム産業論、観光GIS、観光情報システム、観光時空間行動解析	603

出願及び入学試験に関する注意事項

- 1 出願書類を送付する前にもう一度記入漏れがないか確認してください。
- 2 出願は、本学学生、他大学の学生等を問わず郵送のみ受け付けます。
- 3 入学考査料は、本冊子に挟み込んである「振込依頼書」により銀行の窓口で納付してください。
ATM（現金自動預け払い機）から振り込まないでください。
次に取扱銀行収納印が押されていることを確認し、「振込書（兼手数料）受取書」のコピーを入学願書裏面の所定欄に貼ってください。「振込書（兼手数料）受取書」（原本）も一緒に提出してください。
納付の確認後、受験票と一緒に返還します。
詳しくは、p.8の「9 入学考査料の振込について」を参照してください。
なお、入学考査料を誤って二重に納付した場合などの返還手続は、p.8の「※入学考査料の返還手続案内」を参照してください。
- 4 試験会場・面接受験者控え室等の案内は、試験当日に11号館前に掲示します。
(本冊子裏表紙の「南大沢キャンパス案内図」を参照してください。)
- 5 試験当日は、試験開始20分前までに定められた試験会場に入室を済ませてください。
なお、試験会場の開室は試験開始の1時間前からとなります。
- 6 試験開始後30分以上遅刻した場合は、受験することができません。
なお、交通機関の遅延等やむを得ない場合は、受験を許可することがあります。
- 7 携帯電話を時計として使用することはできません。
なお、試験中は携帯電話の電源を切っておいてください。

〈問い合わせ先〉

首都大学東京 都市環境科学研究科教務係

(南大沢キャンパス9号館2階)

☎ 042-677-1111(代表) 内線4026

受付時間 9:00~17:00

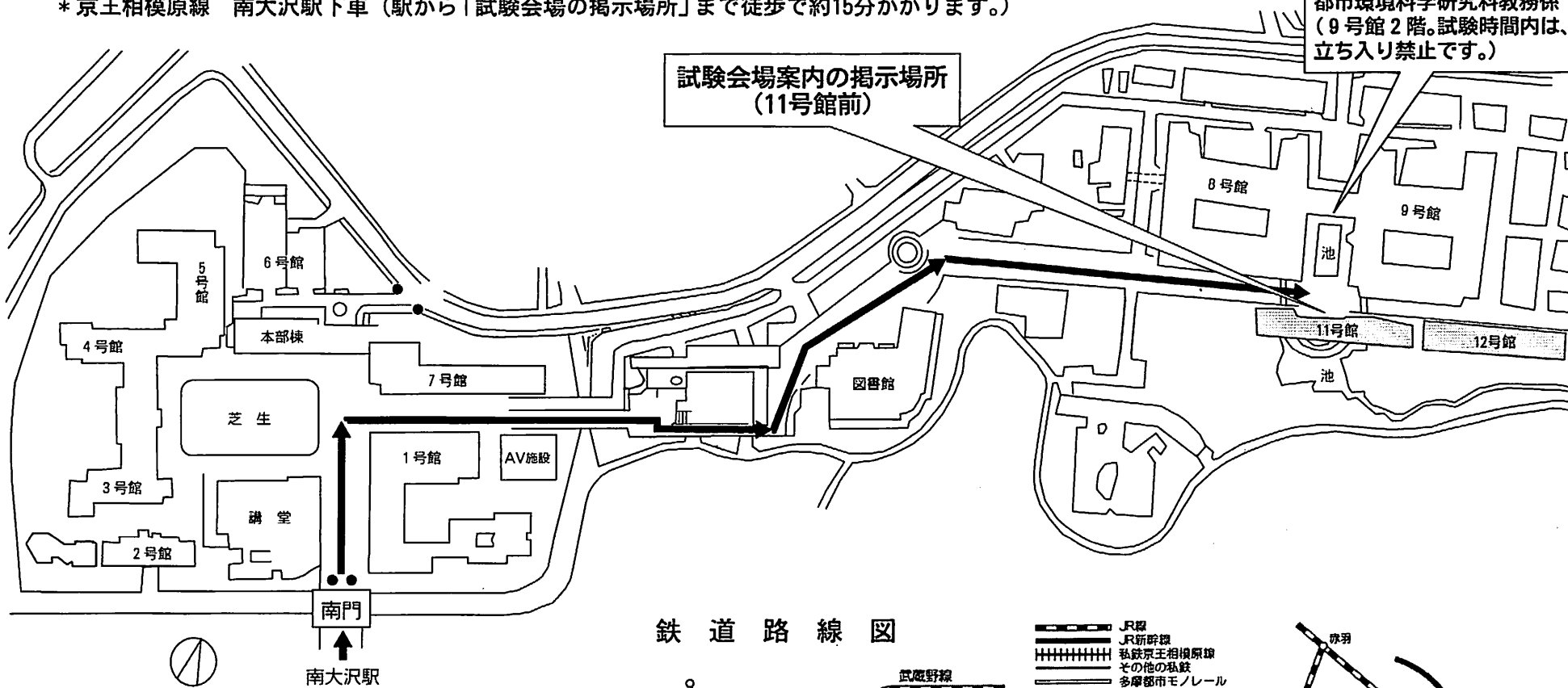
(但し、12:30~13:30を除きます。)

首都大学東京南大沢キャンパス案内図

* 京王相模原線 南大沢駅下車（駅から「試験会場の掲示場所」まで徒歩で約15分かかります。）

都市環境科学研究科教務係
（9号館2階。試験時間内は、
立ち入り禁止です。）

試験会場案内の掲示場所
（11号館前）



鉄道路線図

